

の状況を伺う。

**【答弁】** 除染の進捗率は約60%である。除染の効果は出ているが、0・4haほど再除染が必要などところがある。残る1200haは来年度に持ち越す予定である。汚染牧草処理については、牧草とほだ木の試験焼却を9月24日から26日までの3日間行う。その後、住民説明会を行い、住民合意が得られれば本焼却を行いたい。前処理施設の整備には概ね3ヵ月位を要し、市内2ヵ所を予定している。

**【質問】** 汚染された関係で牛の頭数に変動がないか。  
**【答弁】** まだ取りまとめはできていないが、飼養をやめている農家が散見されている状況がある。

**【質問】** 産直「来夢くん」の現在の状況は。  
**【答弁】** 昨年10月から業務を開始しており、生産者と販売者との連携・サイクルを作り上げる過程にある。全ての品揃えがま

だ出来ておらず、仕入れ商品に頼る面がある。生産者が増えてきているので、徐々に解消の方向にある。

**【質問】** 藤原の郷への施設案内の道路標識・看板の設置は適切か。  
**【答弁】** 国道については16ヵ所・県道や市道などに86ヵ所設置している。水沢ICからの案内が不足しているなど指摘されていることもある。約20年経過しているため、要望や声を再度聞いていきたい。

**【質問】** サンホテル衣川荘に関して、昨年度との業績の違いをどう把握しているか。  
**【答弁】** 平成23年度は震災復興の関係で工事関係者の宿泊が多かったが、その後被災地にできるだけに近いところに宿泊するようになり、宿泊客の減につながっている。

今後さらに平泉から回り遊んでいたような取り組みをしていく。地域の色で染め上げて、地域の産物でもてなすコミュニティホテルのような方向性を模索している。



大勢の観光客で賑わう えさし藤原の郷



地域に親しまれる衣川荘

## 建設環境部門

**【質問】** 有害鳥獣被害が深刻である。鳥獣被害対策実施隊を設置し対策を強化すべき。

**【答弁】** 有害鳥獣被害対策は猟友会に駆除をお願いしているが、猟友会の人数が減ってきている。鳥獣被害対策実施隊を設置すれば狩猟税の減免、公務災害適用、銃の許可の軽減措置等が図られる。

**【質問】** 鳥獣被害対策実施隊の来年度設置に向け関係機関と協議し検討していく。

**【質問】** 小学校校庭等の除染土壌の処理は。  
**【答弁】** 除染土壌は廃棄物と異なり処理の基準は国が決めることとなっている。国から処分の基準（ガイドライン）が示されるので、その基準に従って処理することとなる。

**【質問】** 除染土壌の共同仮置場の設置が難航している状況であるが、その理由と進捗状況は。

**【答弁】** 周辺住民の同意がまだ得られていない。水沢区で4ヶ所が候補地を念頭に置いた検討を進めている。水沢区以外については、総合支所、振興会、地区センター等と協議している。

**【質問】** 江刺区にある東北油化の悪臭の苦情が出されているが、その対策は。  
**【答弁】** 市としては改善勧告を行い、処理原料の密閉化、原料保管庫へのシャッターの設置、保管冷蔵庫の設置、燃焼脱臭装置の設置等が行われた。しかしいまだに苦情が多く寄せられているため、保健所、県の畜産課、市が一体となり、立ち入り検査や夜間における抜き調査を実施していく。

**【質問】** 住宅使用料滞納繰越しの徴収率が下がっているが、その原因と対策は。  
**【答弁】** 近年所得の減少、リストラによる失業等が多くなり、滞納者との協

議はしているがなかなか納入率の向上には結びついていない。25年度は特に高額滞納者のリストアップを行い、夜間訪問を行うなど滞納対策を強化している。

**【質問】** 水道の有収率が簡易水道では66・4%、上水道では77・8%と低い。この原因と対策は。  
**【答弁】** 老朽管が多く漏水が主な原因である。今までは漏水の箇所だけを修繕してきた。これでは効率が悪いため、配水地ごとに漏水が多い箇所を調査し、老朽管更新事業を活用し全体的に老朽管を更新する対策を講じていきたい。



平成25年5月 東北油化の現地調査を実施